

一般財団法人オリンピック Q シリーズ 2028 東京財団

第 2 回 理 事 会

議 事 次 第

日時:2026 年 9 月 17 日(木) 16 時 00 分～

場所:JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室 1

1 開 会

2 議 事

(1) 決議事項

- ・第1号議案 主たる事務所の変更について
- ・第2号議案 第三者審査委員会の委員選任について

(2) 報告事項

- ・契約・調達におけるガバナンス確保の取組
- ・契約・調達管理会議の設置について
- ・I O Cキックオフワークショップの報告

(3) その他

3 閉 会

【配付資料】

- | | |
|-----------------------|------|
| ・ 主たる事務所の変更について | …資料1 |
| ・ 第三者審査委員会の委員選任について | …資料2 |
| ・ 契約・調達におけるガバナンス確保の取組 | …資料3 |
| ・ 契約・調達管理会議の設置について | …資料4 |
| ・ IOCキックオフワークショップの報告 | …資料5 |

主たる事務所の変更について

変更の内容

- 主たる事務所を東京都庁第一本庁舎4階南側（新宿区西新宿二丁目8番1号）に変更する。

経緯

- 設立登記における主たる事務所は、設立者である公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が所在する「東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号（Japan Sport Olympic Square）」としている。
- 2026年8月6日付で東京都から東京都庁第一本庁舎4階南側（東京都新宿区西新宿二丁目8番1号）の行政財産使用許可を受け、同年8月17日から当該場所を事務所として使用している。

【参考】東京都行政財産使用許可書（抜粋）
（使用財産の表示）

第1 使用を許可する財産は次のとおりとする。

- ・名称：東京都庁第一本庁舎
- ・所在：東京都新宿区西新宿二丁目8番
- ・種類：建物（第一本庁舎 南側 4階）

- このため、主たる事務所を「東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号」から「東京都新宿区西新宿二丁目8番1号（東京都庁第一本庁舎4階南側）」へ変更する。

※本議案について理事会の承認を得た後、主たる事務所の変更登記手続きを行う。

第三者審査委員会について

○ 目的

財団のガバナンスに係る事案の適正性等を第三者の立場から審査するために設置

○ 主な役割

「利益相反」、「公益通報」、「懲罰」、「情報公開」、「談合情報」などの適正性等審査を所管

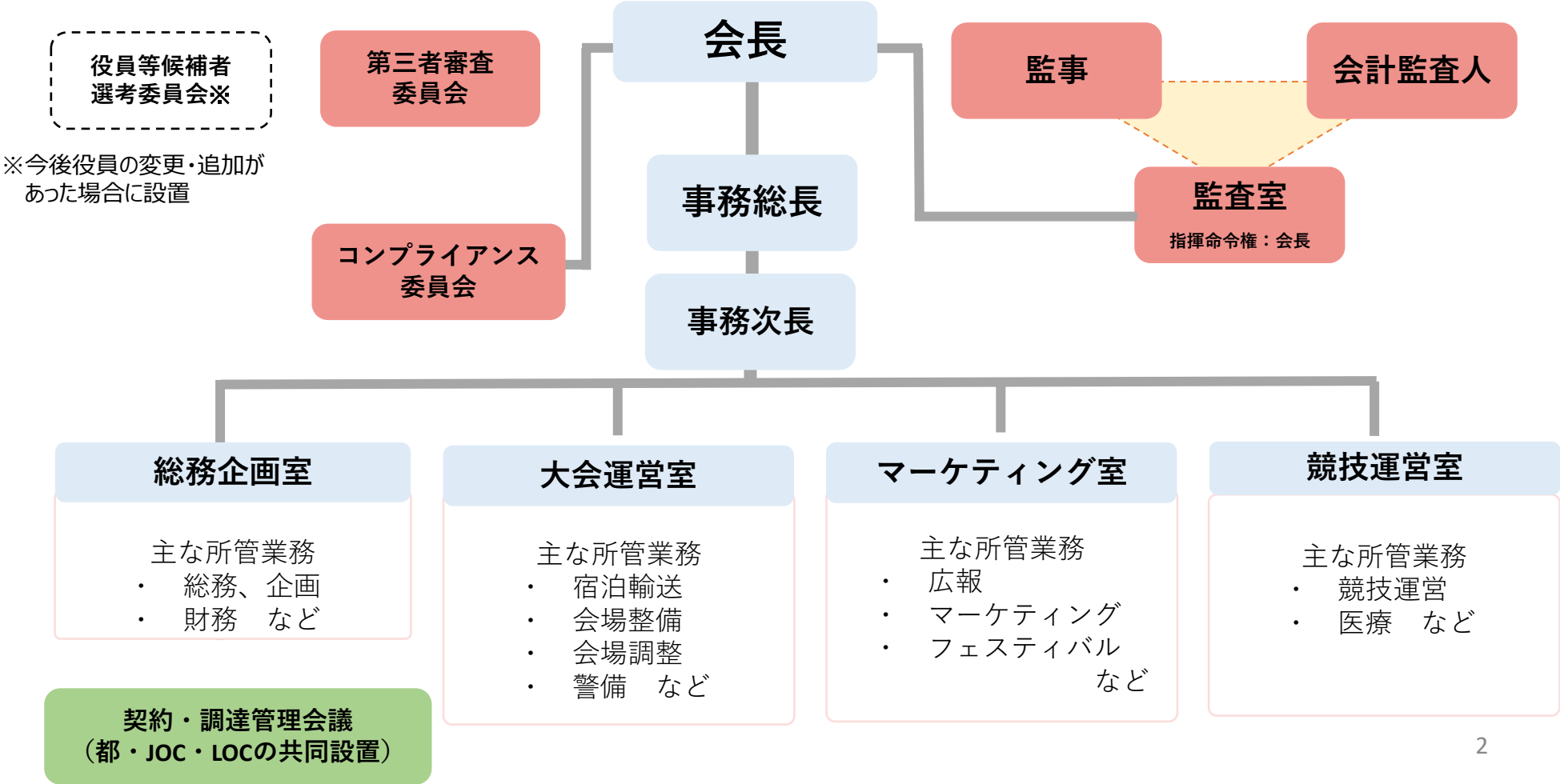
○ 委員構成

外部有識者 5 名（本理事会にて付議）（男性 3 名、女性 2 名）

※ 第 1 回理事会で、当委員会の設置等について定める「第三者審査委員会設置要綱」を決定

体制図

- コンプライアンス委員会を設置し、財団内のコンプライアンスを推進
- 第三者審査委員会を設置し、利益相反管理等、ガバナンスに係る事案の適正性等を審査
- 監査室を中心に、監事・会計監査人と密に連携した三様監査体制を構築
- 契約・調達管理会議により、発注案件に係る仕様や予定価格の適正性を、外部の視点も入れて確認



第三者審査委員会の委員の選任



いけだ ようこ
池田 陽子

〔属性〕

弁護士（明大昭平・法律事務所）

〔選任理由〕

文書管理及び情報公開分野における専門的知見を有しており、弁護士として、国及び地方公共団体における公文書管理、情報公開及び個人情報保護に関する業務に携わってきた経験が豊富である。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

東京都公文書管理委員会委員、公益財団法人鉄道弘済会理事、
応用地質株式会社社外取締役



たじま じゅんいちろう
田島 潤一郎

〔属性〕

弁護士（安西法律事務所）

〔選任理由〕

ハラスメント問題や懲戒処分に関する専門的知見を有しており、弁護士として、使用者側の立場における人事労務に関する法律相談や紛争解決に関する業務に携わってきた経験が豊富である。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

経営法曹会議会員、日本労働法学会会員、第一東京弁護士会総合法律研究所
会社法研究部会・副部会長、第一東京弁護士会労働法制委員会委員、
慶應義塾大学大学院法務研究科非常勤講師、株式会社スポーツフィールド社外監査役

第三者審査委員会の委員の選任



なかじま さい
中島 菜子

〔属性〕

弁護士（長島・大野・常松法律事務所）

〔選任理由〕

弁護士として、公正な競争環境の確保や企業法務分野に関する専門的知見を有するとともに、公正取引委員会事務総局において17年余にわたり審査業務等に従事するなど、独占禁止法や危機管理に関する業務に携わってきた経験が豊富である。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

日本経済法学会、競争法フォーラム会員



にしま とよた
二島 豊太

〔属性〕

弁護士（光和総合法律事務所）

〔選任理由〕

公益通報や企業法務分野に関する専門的知見を有し、弁護士として、東京都公益通報弁護士窓口の担当弁護士や企業の社外役員等を歴任しており、コンプライアンスや企業活動に関する業務に携わってきた経験が豊富である。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

法務省入札・契約適正化調査委員会委員、日本弁護士連合会懲戒委員会委員

第三者審査委員会の委員の選任



ねもと ひろし
根本 博史

〔属性〕

公認会計士（クリフィックス税理士法人）

〔選任理由〕

財務及び会計分野に関する専門的知見を有しており、公認会計士として、複数企業の役員や監査業務を担うなど、業務・財産の状況調査や計算書類等の監査に関する業務に携わってきた経験が豊富である。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

KISCO株式会社監査役、株式会社構造計画研究所ホールディングス取締役

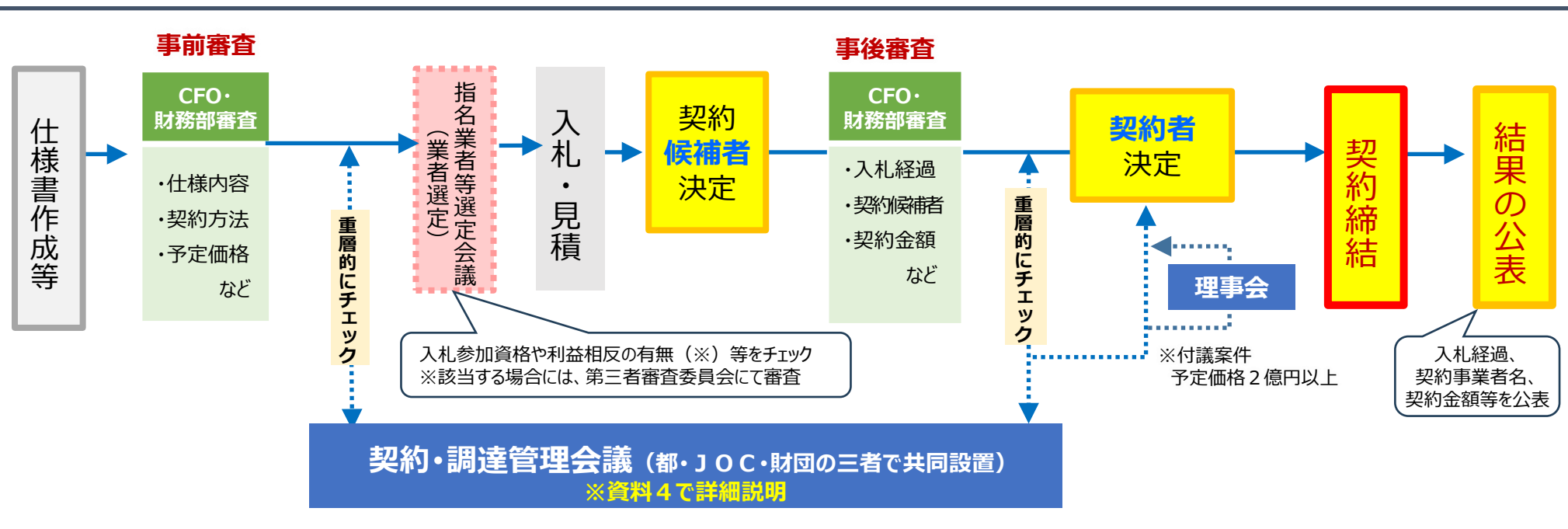
契約・調達におけるガバナンス確保の取組(報告)

契約方法

- 公平性と経済性を重視した競争入札が原則
- 特定の事業者を任意に選定する特別契約は、少額のもの等を除いて限定的に採用

契約の審査手続き

- 入札・見積の前後の2回に渡り、契約案件の適正性を審査
- 外部有識者（弁護士・公認会計士）が加わる契約・調達管理会議で重層的にチェック



入札等の不正防止に向けた対応

- 東京都の要請を踏まえ、以下の取組を実施
 - ・総合評価方式の契約における技術点の減点措置、不正防止に関する誓約書の提出、不正行為等を行った場合の賠償額の設定

- **東京都との基本協定**（8月3日締結）**に基づき**、大会の準備・運営に必要な**契約案件等を適正に審査**するため、**東京都・JOC・財団の三者で「契約・調達管理会議」を共同設置**（8月25日設置）
- 世界陸上及びデフリンピックにおける「契約・調達管理会議」の外部委員であった有識者 2 名を引き続き委員に選定

主な付議対象・内容

【事前審査】
重要な契約案件（予定価格：工事4千万円以上、委託等2千万円以上 等）について、入札・見積前に**仕様内容・契約方法・予定価格等を審査**

【事後審査】
上記契約について、入札・見積後、一定の条件（低入札、1者応札等）に該当した場合に、**入札・見積経過や契約金額等を審査**

【履行結果の確認】
上記契約のうち、都負担金の交付対象となった案件について、履行結果を確認

情報公開

○ 会議の概要について契約締結後に以下の内容をHPで公表

開催日、出席委員、付議案件の概要、委員の主な意見(議事要旨)

委員構成	
委員長 (外部)	鵜川 正樹（公認会計士）
委員 (外部)	滝口 広子（弁護士）
委員	東京都スポーツ推進本部 事業調整担当部長
委員	東京都スポーツ推進本部 国際スポーツ事業部 事業調整課長
委員	(公財)日本オリンピック委員会 事務局次長兼務 財務企画部・広報部 部長
委員	(一財)オリンピックQシリーズ2028東京財団 総務企画室 財務部長

ワークショップ概要**I O C が 4 開催都市に、キックオフのワークショップを実施**

開催日 : 9月2日(水)・3日(木) @IOC本部(ローザンヌ)

参加者 : 太田会長、栗岡事務総長、遠松事務次長ほか

参加都市 : 東京、上海、モンリオール、オーランド

9月2日(水)

午前

- ・開催都市のプレゼンテーション
- ・IOCからの各種ガイダンス(ロードマップ、競技運営、会場、宿泊等)

午後

- ・IOCとの個別セッション

9月3日(木)

午前

- ・IOCからの各種ガイダンス
(マーケティング、ライセンス、財政)

午後

- ・IFとの個別セッション
(バスケット、自転車、クライミング、スケート)

ワークショップの様子①

I O C 会長からのご挨拶

「Qシリーズにより、オリンピックの高揚感、エッセンスを届けたい」



※その他、東京以外の3都市からも
各プレゼンテーションを実施

- ・上海
- ・モントリオール
- ・オーランド

開催都市のプレゼンテーション

東京

太田会長から東京大会の魅力について説明

栗岡総長から財団設立やスケジュールについて説明



ワークショップの様子②

IOCからの各種ガイダンス

- IOCから4開催都市に対し、以下のブリーフィングを実施
 - ・ロードマップ
 - ・スポーツ、大会運営
 - ・マーケティング、財政
- 会場整備や競技運営、メディア、セキュリティなどの**大会運営要件の概要**や大会までの**ロードマップ**等が提示された



IFとの個別セッション

- 東京大会の4競技（バスケットボール・自転車・クライミング・スケートボード）の**国際競技連盟（IF）**に対し、**大会概要を説明するとともに意見交換**を実施
- 今後、各IFと具体的な協議を開始

